

豊橋市民病院の院内感染に伴う対応について

10月21日（金）から24日（月）にかけて、豊橋市民病院の1病棟（46床）において、入院患者および職員による新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生したため、それに伴う病院の対応についてご報告します。

1. 経過

- 10月21日（金） 発熱があった入院患者1名を検査したところ陽性が判明
10月22日（土） 入院患者2名、医師2名、看護師2名の陽性が判明したため、当該病棟の入院患者38名と関係する職員等79名について検査を実施
～ 23日（日）

2. 陽性者数合計〔10月24日（月）8時時点〕

- ・入院患者 18名
- ・職員 22名（医師5名、看護師16名、看護助手1名）

3. 病院の対応

- （1）陽性が確認された入院患者については、専用病棟への転床等の措置を講じています。
- （2）安全を期すため、当該病棟については当面の間、新規入院患者の受入れを制限します。
- （3）急性期の治療を終えられた患者の他院への速やかな転院＜継続＞
- （4）新型コロナウイルス感染症回復患者のうち、基礎疾患などにより引き続き入院医療が必要な患者の他院への円滑な転院＜継続＞

4. 市民の皆様へ

患者や職員の健康観察を行うとともに、感染拡大防止策の徹底を図り、早期収束に努めます。引き続き、院内部署間の職員応援により、救急医療体制を維持します。